



県内の建設業者のみなさまへ

建設工事等における コンプライアンスの徹底のお願い

基礎ぐい工事のデータ流用等の問題

横浜市内のマンションに端を発した基礎ぐい工事のデータ流用等は、旭化成建材㈱だけでなく、他のぐい工事会社にも広がっており、**建設業全体に対する社会からの信頼が揺らぐ事態となっています。**

こうしたデータの流用等が行われた原因については、国土交通省が設置した「基礎ぐい工事問題に関する対策委員会」で検証が進められていますが、**今後とも建設業に対する信頼を維持していくためには、現場の作業員だけではなく、工事を監督する技術者、さらには元請をはじめとした各企業で、法令などのルールや倫理を守ること、いわゆるコンプライアンスを徹底していく必要があります。**

建設業者のみなさまにおかれては、日頃からコンプライアンスの徹底に努めておられることと思いますが、**一つのごまかしや見落としが、県民の安全安心を損ない、企業の経営を危うくする可能性もあります。**

今回の問題を自らのこととして改めてお考えいただき、誠実な請負契約の履行や適正な施工管理など、**建設工事等におけるコンプライアンスの一層の徹底を図っていただくようお願いいたします。**